

学校だより

令和 8 年度 9 月号

共に学び
明日が楽しみになる学校

しもこ

川崎市立下小田中小学校

ひとり ちい いっぽ 一人ひとりの小さな一歩から

こうちょう あんざい ようこ
校長 安齋 陽子

45日の長い夏休みが明け、学校に子どもたちの元気な歓声と笑顔が戻ってきました。静まり返っていた校舎に再び活気が満ちる中、教職員一同、大きな喜びを感じています。夏休み中、子どもたちが安全に過ごせるように、保護者の皆様、地域の皆様の温かい見守りとご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。

夏休みに入る前、子どもたちには「挑戦すること」の大切さについて話をしました。それぞれ、どのような挑戦をしたのか話を聞くのが楽しみです。また、夏は平和を願う式典が多くありました。広島県の「平和への誓い」で、子ども代表は「相手の気持ちを想像し、意見の違いがあっても認め、受け止めること」と呼びかけました。そして、「一人一人の小さな行動が、平和への後押しとなります」と語りました。この言葉は、私たちの学校生活にも繋がると思います。友達の気持ちを考えて声をかけること。困っている人に手を差し伸べること。自分と違う考えにも耳を傾けること。一つ一つは小さなことでも、みんなが取り組み、学校はきっと温かく、過ごしやすい場所になります。「平和とは、誰かからあたえられるものでなく、世界中の人々で創り上げるもの」。子ども代表の言葉を胸に、私たちも平和への一歩を踏み出して、よりよい学校、よりよい社会に向けて挑戦していきましょう。また、熊本での地震、千葉での大雨など災害が続きました。被害にあわれた方々に心よりお見舞い申し上げます。学校といたしましても、児童の安全と安心を第一に、引き続き努めてまいります。

長い休みの後ですから、心も体もすぐに100%学校モードに切り替わらないこともあります。あせらず、それぞれのペースで少しずつ学校生活のリズムを取り戻せるよう、引き続き温かく見守ってくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。